

# 令和5年度組織目標

部局名	教育委員会
R5年度に特に注力する事項(目標)	○子ども一人ひとりの学びの最適化 目標： ・毎日の授業において、ICTが効果的に活用されている。
	○笑顔あふれる学校づくり 目標： ・学校における働き方改革の推進 超過勤務時間の削減(月45時間以内を目指す)
	○困難な環境にある子どもたちの学びへの支援強化 目標： ・スクールカウンセラーが支援に関わった児童生徒数(不登校等)1350人以上 ・スクールソーシャルワーカーが支援に関わった児童生徒数2,000人以上
	○こどもとしょかんの検討 目標： 滋賀ならではの「こどもとしょかん」の目指す姿および基本方針を決定する。
	○学校におけるCO <sub>2</sub> ネットゼロに向けた取組の推進 目標： CO <sub>2</sub> ネットゼロ実現に向けて、環境負荷の低減や児童生徒の環境教育等に資する県立学校施設のあり方について整理・検討を行う。

所属名	教育総務課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○次期滋賀の教育大綱(第4期滋賀県教育振興基本計画)の策定 目標： R5.7月に審議会からの答申を受け、11月に県議会に提案、12月中の策定を目指す
	○生きる力を育むICTを活用した教育の推進 目標： 授業にICTを活用して指導できる教員の割合 80.0%
	○【見直し・効率化】高等学校等就学支援金にかかるオンライン申請の導入 目標： R5年度に6校で試験導入、R6年度本格導入に向けた検討・準備

所属名	教職員課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○子どもも教職員も笑顔あふれる学校づくりの推進 目標： ・一人あたりの時間外在校等時間を前年度より減少させる ・「やりがいがある」、「働きやすい」と回答する教職員の割合を前年度よりも増やす。
	○本県の教員を目指す多様で優秀な人材の確保 目標： ・教員へのファーストステップ支援事業の延べ参加者数 80人
	○メンタルヘルス対策の充実、強化 目標： ・長時間労働者への面接指導率を前年度より向上させる。
	○【見直し・効率化】 教育職員免許状授与証明書の申請等の完全電子化 目標： ・令和5年度中に実現する。

所属名	高校教育課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○入学者選抜方法の改善 目標： 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会を開催し、12月をめどに新入学者選抜制度を公表
	○魅力ある県立高等学校づくりの推進 普通科の特色化を図るため、学科改編等に向けた検討を進める。 目標： 学科改編に向けた実施計画の策定：4校
	○「読み解く力」をもとにした探究活動の充実 目標： 各県立高等学校の探究活動を発表する機会である「（仮称）しが学びの祭典」を開催し、生徒の探究的な学びの充実・発展を図るとともに、高校生の探究活動を県内に広く発信する。
	○【見直し・効率化】県立高等学校入学者出願事務 目標： 令和8年度県立高等学校入学者選抜からの出願事務のインターネットを利用した電子手続き導入に向け取り組む。

所属名	幼小中教育課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○「読み解く力」の定着・浸透と個別最適な学びの推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての子どもが「わかった」「できた」と実感する授業づくり</li> <li>－国語／算数・数学の授業はよくわかる 小) 90.0% 中) 85.0%</li> <li>・自ら学びに向かう、子どもの主体性を引き出す授業づくり</li> <li>－授業で取り組みたい課題を考えたり、自分に合った方法を選んだり、自分でペースを決めたりして学習を進めることができていると思う 小中) 85.0%</li> <li>・「第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン」の作成・幼児教育センター開設に向けた連携</li> </ul>
	○困難な環境にある子どもたちへの学びへの支援強化 目標： 欠席5～7日の不登校児童生徒に対する校内ケース会議の実施率 80%
	○夜間中学開設準備の推進 目標： 有識者会議で基本方針や運営方針について協議をすすめ、12月までにシンポジウム等を開催し県民に広く周知を図る。
	○【見直し・効率化】ICTを活用した業務の精選 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や会議においてオンラインを併用したものにする。</li> <li>・業務の精選により定時退庁を徹底する。</li> </ul>

所属名	特別支援教育課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○県立特別支援学校の教育環境整備 目標： 関係課との具体的かつ組織的な検討を進める。
	○インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・副次的な学籍制度の定着に向け、取組内容の更なる充実を図る。</li> <li>・特別支援学校分教室設置の実現に向け、市町との具体的な検討を進める。</li> </ul>
	○社会的・職業的自立に向けた職業教育の充実 目標： 県立特別支援学校高等部3年時における就職希望者の就職実現率90%以上を維持する。
	○【見直し・効率化】各種会議や調査等に係る実施方法、回数等の検討 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係の各種集合会議について、一部オンライン開催方式で実施する。</li> <li>・進路状況調査の実施回数について、年間3回から2回に変更する。</li> </ul>

所属名	人権教育課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実 目標： ◇人権教育における「参加・協力・体験」的な学習の実施校の割合 【全校種で100%を目指す】 ◇人権教育における「参加・協力・体験」的な学習の質の向上
	○子どもの「自尊感情」を育む取組の推進 目標： ◇自尊感情に関する「いしずえアンケート」(年間2回、6月・12月実施)において、肯定的に回答する児童生徒の割合の向上を目指す。
	○教職員の人権感覚・指導力の向上 目標： ◇各校における重点テーマ研修(令和5年度は「多様な子どもを支えるために～子どもの姿から気づき、背景を考える～」)の実施率 【年度末までに100%を目指す】
	○【見直し・効率化】会議および研修会の開催方法の見直し 目標： ◇人権教育推進会議：年間3回の会議の1回以上をオンラインで開催 ◇人権教育担当者研修会：オンラインと参集のハイブリッド型で開催

所属名	生涯学習課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○子ども読書の推進と図書ネットワークの強化 目標： ・滋賀ならではの「こども としょかん」の目指す姿および基本方針の決定 ・第5次子ども読書活動推進計画の策定
	○地域とともにある学校づくりに向けた持続可能な取組の推進 目標： ・学校運営協議会を設置する公立学校の割合 69%
	○地域の課題解決につながる社会教育の推進 目標： ・家庭教育支援チームを組織する市町数 13市町 ・近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)の満足度 80%
	○【見直し・効率化】各種会議や研修会等にかかる実施方法の効率化検討 目標： ・資料や挨拶、復命等について見直し、簡略化、共有等により所要時間の減 ・当課事業について共催も検討、共催事業についても協議しながら改善

所属名	保健体育課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○学校部活動の地域移行および全国中学校駅伝開催 目標： 地域移行の県方針策定、全中駅伝の持続可能な開催体制づくり
	○子どもの運動意欲と体力の向上 目標： 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合 小5:男70.0%・女52.0%、中2:男60.0%、女39.0%
	○子どものこころとからだの健康への対応力の向上 目標： 子どもの心の健康課題等への理解を深め、スクールカウンセラーなど多職種で連携して対応できるよう教職員の対応力を高める。
	○【見直し・効率化】会議や研修実施におけるICTの活用 目標： 会議等のオンライン開催や開催後アンケート実施にICTを活用し効率化を図る。